

平成 25 年 11 月 18 日

報道関係各位

銚子信用金庫

平成 25 年度上期の事業概況の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町 5 番地の 5 理事長 松岡明夫）の平成 25 年度上期（平成 25 年 4 月～9 月）の事業概況を公表いたします。

1. 預金積金・貸出金の状況

単位：百万円

	平成 25 年 3 月末	平成 25 年 9 月末	増 減
預金積金	446,175	454,411	8,236
貸出金	147,619	145,141	△2,478

預金積金残高は、個人向け国債の償還金に対する定期預金募集や夏の定期預金キャンペーンなど、積極的な募集活動を展開し、前年度末比 8,236 百万円（1.84%）増加し、454,411 百万円となりました。

貸出金残高は、事業性融資については設備資金の需要喚起に取り組むとともに、セーフティネット保証など信用保証協会保証付融資を主体に推進し、個人性融資については金利割引サービスを付加した住宅ローン、リフォームローン、カーローンを中心に推進しましたが、設備資金の需要低迷などにより、前年度末比 2,478 百万円（1.67%）減少し、145,141 百万円となりました。

2. 損益の状況

単位：百万円

	平成 24 年 9 月末	平成 25 年 9 月末	増 減
業務純益	1,052	1,001	△51
経常利益	888	652	△236
当期純利益	684	630	△54

業務純益は、利回りの低下などにより資金運用収益が前年同期比 221 百万円減少したものの、経費削減など業務費用の減少により、前年同期と同水準の 1,001 百万円となりました。

また、経常利益は、大口融資先の倒産や財務状況悪化に伴う債務者区分の引下げなどが発生したため、償却・個別貸倒引当金繰入額など臨時費用の増加により、同 236 百万円減少の 652 百万円となりましたが、最終の当期純利益は、前年同期と同水準の 630 百万円となりました。

3. 不良債権（金融再生法上の開示債権）の状況

単位：百万円

	平成 25 年 3 月末	平成 25 年 9 月末	増 減
不良債権残高	14,850	15,700	850
不良債権比率	9.97%	10.73%	0.76%

不良債権については、毎期年度当初に策定する処理計画に基づいて処理を進めるほか、優先順位を付して事業再生等の支援を実施したものの、大口融資先の倒産や債務者区分の引下げなどが発生したため、不良債権額は前年度末比 850 百万円増加し、また、分母となる総与信が減少したことから、不良債権比率は、前年度末比 0.76 ポイント上昇の 10.73%となりました。

4. 自己資本比率

	平成 25 年 3 月末	平成 25 年 9 月末	増 減
自己資本比率	12.24%	12.54%	0.30%

自己資本は、当期純利益全額を内部留保したことにより、自己資本額は前年度末比 630 百万円増加し、自己資本比率は同 0.30 ポイント上昇の 12.54%となりました。

以 上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：森山）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町 5 番地の 5

tel：0479-25-2115 fax：0479-22-9909 e-mail：keiki02@choshi-shinkin.co.jp

ちよししんさん
<http://www.choshi-shinkin.co.jp>